

果樹病虫害発生予察調査結果（9／10調査分）
（三条、加茂、田上地域）

9月10日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共 通）

- フェロモントラップ調査では、ナシヒメシンクイの誘殺数が9月1半旬にピークを迎えています。JAの防除情報等を参考にしながら、これから収穫を迎える品種への被害防止に努めましょう。
- 今回調査でハダニ類の発生は確認されませんでした。来年の被害軽減のため、9月中旬頃までに主幹や主枝基部に古布や古新聞を巻き付け、2月中旬までに外して処分するバンド誘殺を行い、越冬数を減少させましょう。ナシヒメシンクイ、コナカイガラムシ類にも有効です。

（ナ シ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は依然として発生が増加しており、落葉・落果が確認されている園地もあります。次年度の菌密度を下げるため、満遍なく薬剤がかかるようSSの走行路に注意し、薬剤散布量を増やす等、丁寧な散布を心掛けましょう。また、ほうき枝等は随時整理しましょう。
- 今回調査で黒星病の発生は確認されませんでした。暑さが落ち着き雨が多くなると、翌年の感染源となる芽基部病斑が増加する恐れがあります。防除暦に従い落葉まで防除を実施し翌年の感染源対策に努めましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに100新梢を調査しました。

- せん孔細菌病は発生が増加しており、今回調査では、全調査園地において新梢葉への発病が確認されました。落葉期(10月下旬頃)まで収穫後防除を実施し、翌年の感染源対策に努めましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 今回調査でアザミウマ類による被害は確認されませんでした。9月中旬ごろまで加害が続く恐れがありますので、周囲の品種の収穫日に注意しながら防除を実施しましょう。

次回調査は9月25日(金)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係 TEL : 0258-36-8105 FAX : 0258-34-8020
